

10月9日(日)

スポーツフェス2011を開催

スポーツの秋です。身体を動かしてさわやかな汗を流しませんか。最近、運動不足など感じている人、たまにはスポーツでもやりたいなど思っている人も、なかなか機会がない人は、参加しても楽しい、見ても楽しい「スポーツフェス2011」にぜひご来場ください。

●開催日：10月9日(日)・開会式 9時45分。
●雨天の場合、屋外種目を除き実施。
●松山下公園総合体育館ほか。

●開催日：10月9日(日)・開会式 9時45分。
●雨天の場合、屋外種目を除き実施。
●松山下公園総合体育館ほか。



▲「スポーツフェス2011」の会場図



どこまでまげられる? 「体力測定」で自分の体力を測ってみてはいかが

- 参加者を募集します
- 松山下公園1周マラソン さわやかな秋空の下、松山下公園敷地内コース1.5kmを走ります。
- 小学生以下の部：定50人。午前11時スタート。
- 中学生以上の部：定50人。午後1時30分スタート。
- 親子障害物リレー 親子2人、子ども2人でバランス、軽快さが勝負の障害物リレー。大人と子どもの年の差が20歳以上なら親子じゃなくても可。友達の家族と一緒に参加でも大丈夫です。
- 松山下公園1周マラソン 定30組。午後2時30分スタート。
- リフレッシュエアロ 定20人。
- リフレッシュヨガ 定20人。
- リフレッシュヨガ 定20人。
- ストレッチポール 定20人。
- ストレッッチボール 定20人。
- 婚活テニス大会 チャンスは自分の手で。独身男女各16人によるテニス大会。
- ハイハイレース 定1組。未満幼児と保護者。定25組。
- ヨチヨチレース 定25組。2歳未満幼児と保護者。定各25組。
- 就学前児童20m競走 定25組。午前11時、午後2時。
- 各競技とも、9月27日(火)までに松山下公園総合体育館に提出(いずれの競技も先着順・郵送可)。
- 申込用紙は、松山下公園総合体育館、各公民館の窓口または市ホームページから入手可。
- 当日、自由に参加できます
- 「チャレンジスポーツ」 誰でも自由に参加でき印西市の一番を決定します。
- フリースロー
- 逆立ち歩行
- 大ボール投げ
- マッスルトライアル
- アプローチショット
- 一輪車タイムレース
- 見るスポーツ 正午からメインアリーナ観客席でさまざまな演技を見ながら昼食をおとりください。
- 演技内容は当日いらしてからのお楽しみです。
- 体験スポーツ
- クライミング
- 卓球
- スラックライン
- そのほか
- 体力測定
- 体組成診断
- 健康相談コーナー
- 心肺蘇生AED体験
- スポーツ少年団ティーボール大会
- 弓道協会公開練習
- バレーコート(先着20組40人)
- 当日はシャトルバスを運行します(運行表は「広報いんざい」10月1日号に掲載)。
- 【注】イベント開催のため、トレーニングルームの利用は午後3時からとなります。
- ※10月9日(日)は、市民を対象に有料体育施設を無料(要予約)としています。
- 園スポーツ振興課振興班(〒270-1367 印西市浦部2-7-5・松山下公園総合体育館内・☎8417)。

勇気ある救助と迅速な応急処置を称えて

吉井氏、岩井氏、栄氏に消防表彰



去る8月11日、印西地区消防組合消防本部で、消防表彰が行われ、吉井広宣氏(小林・写真左)、岩井勝利氏(荒野・写真中央)、栄雅彰氏(小林大門下・写真右)の3人に感謝状が贈呈されました。

今回の表彰は、吉井氏と岩井氏の両氏については、小林で発生した建物火災で、逃げ遅れた女性を救助した功績を称え、栄氏については、テニス練習中に倒れた男性に、いち早く応急処置を開始し適切な救急救護を行った功績を称えるものです。



▲講演中の小林教授(写真最右)

去る7月13日、小林士郎教授(日本医科大学千葉北総病院脳神経センター長)による講演会が、印旛中で開催され、生徒・保護者のみなさんが多数参加しました。

講演の中で、小林教授は「FAST」(Face)、「片腕のまひ(Arm)」、「言葉が出ない(Speech)」、「のてれを見たら、「一秒でも早く(Time)」、「すばやく行動(Act)」とオシム氏(元サッカー日本代表監督)やイギリス政府広報の動画も交え早期発見・治療の重要性を提示。参加者も熱心に聞き入っていました。

質疑応答では、脳卒中の防止や身近に起こった場合の説明もあり、盛況の内に幕を閉じました。

「平成23年度企画提案型協働事業」

公開審査会(第3次審査)を開催

市では、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、「企画提案型協働事業」を実施しています。

このたび、第2次審査を通過した企画提案の公開審査会(第3次審査)を次のとおり開催します。ba.jp)。

開催日時：10月6日(木)・午後2時～5時。

開催場所：文化ホール(大森)。

定員：30人(当日先着順)。

市民活動推進課市民生活支援班(☎内線345・siminkatudou@ml.city.inzai.chiba.jp)。

講演会「脳卒中にならないために」

日本医科大学千葉北総病院脳神経センター 小林士郎教授が印旛中で教育講演

去る7月13日、小林士郎教授(日本医科大学千葉北総病院脳神経センター長)による講演会が、印旛中で開催され、生徒・保護者のみなさんが多数参加しました。

講演の中で、小林教授は「FAST」(Face)、「片腕のまひ(Arm)」、「言葉が出ない(Speech)」、「のてれを見たら、「一秒でも早く(Time)」、「すばやく行動(Act)」とオシム氏(元サッカー日本代表監督)やイギリス政府広報の動画も交え早期発見・治療の重要性を提示。参加者も熱心に聞き入っていました。

質疑応答では、脳卒中の防止や身近に起こった場合の説明もあり、盛況の内に幕を閉じました。